



天津理工大学

(中華人民共和国)

(Tianjin University of Technology)

交流協定締結年月日：2012年10月25日 主管学部：工学部



国際交流の特色(大学紹介)

天津理工大学キャンパス風景

天津理工大学は原天津理工学院、天津大学機電学院、天津大学分校、天津大学冶金分校が統合された天津市市立大学である。17学院を有し、学士課程専門分野は62、修士課程専門分野は84ある。学生総数約26,300人のうち、学部学生は約24,100人、大学院学生は約1,800人、長期留学生は約400人で、研究を中心とする大学である。双方の学術交流を拡大・推進するために、教員及び研究者の交流、学生の交流、共同研究の実施、研究会議の開催などを実施していく。学術交流を行うことによって、全学の国際交流および国際貢献に寄与し、国際化および活性化をいっそう促進する。

交流実績(平成25年度～27年度)

年度 受入・派遣	平成25年度	平成26年度	平成27年度
学生の受入	6	1	2
学生の派遣	0	5	0
研究者・職員の受入	5	2	4
研究者・職員の派遣	4	8	8



天津理工大学での協定調印式(H24.10.25)

教員からの声

天津理工大学とは、2012年10月25日に全学協定を締結したばかりであるが、教員及び研究者の交流、学生の交流、共同研究の実施、研究会議の開催などの実施を活発に行っている。特に、天津理工大学の学部卒業生および大学院修士課程の優秀な学生が、大学院工学研究科博士前期課程及び博士後期課程に入学できるよう、文部科学省が設けている国費外国人留学生に大学推薦し、博士課程の充実に寄与したい。国際共同研究を実施するため、天津理工大学から1名の教員を香川大学の特命准教授として招聘し、また、本学の工学研究科の博士後期課程修了生2名が、天津理工大学の准教授および講師を務めている。今後も両大学間の研究教育交流が良い成果を得られることを期待している。

工学部教授 郭 書祥

学生からの声

天津理工大学は工学、理学、文学と芸術などの学部をもつ総合大学です。157.7ヘクタールの広大なキャンパスには、実験室が8箇所、研究センターが8箇所、天津市重要実人文社会科学基地が2箇所あります。インターンシップ制度を活用し、大学の科学技術革新能力を発揮することや、友好関係を確立している20か国、82カ所の有名大学及び研究機構への派遣も可能です。これから私は、研究活動や日本での生活を充実させ、将来的には香川大学と天津理工大学との交流に貢献したいと思っています。

工学研究科 博士後期課程 宋 雨

天津理工大学

(Tianjin University of Technology)

ホームページ <http://www.tjut.edu.cn/>

●学部学生

18,600 人

●大学院生

4,400 人

●教職員

1,700 人

●留学生

400 人